# 議会広報広聴委員会

令和５年６月８日（木）
午後１時30分から
全員協議会室

【出席者】三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
【議長団】笹田議長
【事務局】下間局長、村山書記、小寺主事

---

議題

1　はまだ議会だよりminiについて……資料1
(1)　第22号掲載内容及び原稿担当

(2)　その他

2　はまだ議会だよりVol.70について……資料2-1、2-2
(1)　ページレイアウト

(2)　掲載記事及び原稿提出締切

(3)　その他

3　地域井戸端会での自由意見の振り分けについて……資料3
(1)　地域井戸端会での自由意見の振り分け先の確認

(2)　その他

4　第3回はまだ市民一日議会について……資料4
(1)　昨年の実施概要確認

(2)　開催日決定

(3)　その他

5　ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて……資料5
(1)　ぎかいポストに寄せられた意見の振り分け先の確認

(2)　その他

6　その他
(1)　3常任委員会での広報広聴委員によるお知らせについて

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 13 日（土）17 時 30 分～19 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>井野まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>0</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>肥後孝俊、串﨑利行、小川稔宏</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td colspan="3">【回答したもの】※回答概要も記載</td></tr>
<tr><td colspan="3">【持ち帰るもの】</td></tr>
</table>

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　　肥後　孝俊

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 19 日（金）17 時 30 分～19 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>美川まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>7</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>肥後孝俊、串﨑利行、小川稔宏</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>1.　第３中学校へ通う子ども達の送迎に困っている。当初は夫婦で送迎できていたが、勤務時間に変化があり送迎が難しくなったので、スクールバスを前倒しして運行してほしい。<br>2.　子どもの教育は当事者・学校・地域の三者でするものだと考えている。今はできていないのではないか。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>1.　グラウンドゴルフ等、高齢者スポーツは他地域ではされているのか。<br>2.　総合福祉センターのコーヒー店が閉店していて残念だ。寛げる場がなくなってしまった。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>1.　農業耕作放棄地の管理対策について<br>2.　林業関係は、給与面が生活していくのに、厳しく若い人がいない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td>【回答したもの】※回答概要も記載</td></tr>
<tr><td>【持ち帰るもの】<br>1. 櫟田原町から内村町本郷橋までコミュニティバスが運行して折り返して帰っているが、空いたバスを美川～3 中へ通学するのに困っている中学生の送迎に使う等、臨機応変な対応方法を取れないものか。（総務、協働）<br>2. 市民の困りごとを聞く場をもっと作ってほしい。（広報）<br>3. 美川地区の中で、中山間地と言われる横山・田橋・櫟田原町と平地の内田・内村・穂出町で農業の補助制度が違うこと（補助額の開きが大きい）で農地保全が難しい現状がある。（産業）<br>4. 林道整備などで国交省・林野庁が提示する積算価格の基準が違い過ぎて業者は困るので、なんとかならないか。（産業）<br>5. 財政の危機感がないのでは。行財政改革をさらに推し進めなければならないと思うのだが。（総務）</td></tr>
</table>

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　　肥後　孝俊

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 27 日（土）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>木田まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>10</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>肥後孝俊、串﨑利行、小川稔宏</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>1.　中学生までの子どもがおられる世帯が木田には４世帯しかいない。テーマに沿った話がしにくい。<br>2.　地域で生まれ育った子ども達が、帰ってきたい地域にならないと地域の将来が見えない。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>1.　子どもが地域から減ることで、身体も心も元気でなくなる。<br>2.　通院する移動手段(公共交通・乗合タクシー等)についても考えていかないといけない。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>1.　米価が低く儲からないのであれば、麦を作って稼げないのか。<br>2.　農業用ビニールハウスを新設する時には補助制度があるが、年数が経過し痛んだ箇所を修繕する際にも補助制度があると助かるのだが、制度設計ができないものか。</td></tr>
<tr><td>自由意見</td><td colspan="3">【回答したもの】※回答概要</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 【持ち帰るもの】<br>1. はまだお魚市場では目を引くような安価な魚が販売されていないが、道の駅阿武町では地元の魚が安価に提供されている。併せて地元産の野菜や果物、土産物も取り揃えてあり地元の方も旅の方も買い物を楽しんでおられ賑わっているが同じ様にできないものか。(産業)<br>2. 市が空き家を解体処分する補助制度ができないものか。(現行制度以上を求める)(総務)<br>3. 山林の樹木を伐採しているが、その後植林をされているのか。(産業)<br>4. 市の箱物事業全体について危惧。福屋跡地の 1F 使用目的の分かりにくさ。浜田城資料館、神楽伝承館、瀬戸ヶ島埋立地の現状など。(総務、産業)<br>5. 議会として消防団員確保に向けて取り組んでほしい。(総務、協働)<br>6. 不登校児童・生徒や障害のある子ども達に対して放課後デイサービス事業に 3 億円の予算がついているが、市街地ばかりで中山間地にないのは公平でないのではないか。(総務、福祉)<br>7. 元市職員の飲酒隠蔽事件についての市民への説明が不足していると感じる。なかったのならないと明言してほしい。(総務)<br>8. 空き家バンクに入居を検討される方向けに、地域活動への参加を条件にするとホームページ上で明示可能か。(総務)<br>9. 市職員と住民の顔が見える関係を築いてほしい。議会が攻め立てるばかりでなく一緒になって職員の後押しをしつつ、馴れ合いでなくチェック機能を有する議会議員となってほしい。(総務) |

令和 5 年 6 月 6 日　議会広報広聴委員　　肥後　孝俊

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年６月３日（土）17 時 30 分～19 時 45 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>雲城まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>10</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>肥後孝俊、串﨑利行、小川稔宏</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>1.　市街地にしか不登校児童・生徒が通う施設がないのは不公平ではないか。通うのに不都合がある。例えばまちづくりセンターで支援しても良いのではないか。<br>2.　親子で参加するイベントを実施していかなければいけない。子どもだけではなく、親が参加したくなる様にして地域の方とつながることでお互いの顔が見える関係になれる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>1.　心の健康が心配。元気になれる要素がない。サロン等に来られない人の移動手段確保も特区を含め検討してほしい。<br>2.　高齢者の自宅周辺の市道法面の草刈りをボランティアは心苦しいからと自費で業者に頼んでいるが負担が大きく心を病む状況がある。<br>3.　医療センターの放射線治療機器が壊れ当分使えない状態にある。出雲や県外に通わなければならず困っている。高額な修理費が掛かるため修繕の見込みも立たないと聞くがなんとかならないものか。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>1.　草刈りをするにも、燃料がいる。地域が衰退することによって様々な業種の店舗が集約されると農業・林業などが継続できない。<br>2.　楽天農業の進出について地元説明会が開催されるのか。<br>3.　TC トマトの経営状況はうまくいっているのか。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>産業建設<br>2.地元説明会について現時点では把握していないが、有機農業をする。品目はさつまいも、ブロッコリーなど。 |
| 自由意見 | 【持ち帰るもの】<br>1. 福祉を軽視しているように思えるのだが。(地域コーディネーターの削減などでサロン運営が継続できなくなったなどの問題) (福祉)<br>2. TC トマトの経営状況と今後について(誘致企業への優遇と地元農家への支援の差が問題ではないのか) (産業)<br>3. 地域共通商品券の課題。2 種類に分けることで使いにくい。使う側の意見を聞いて制度設計を行うとより良い政策となると思うのだがいかがなものか。(産業)<br>4. 地域井戸端会の参加者が少ないのも、意見を言っても通らない実現できんと住民に思われているからではないのか。若い人に参加してもらえる会にしないと未来がない。(広報・協働)<br>5. きんたの森(団地)の防災無線が使えていない。電波受信状況が悪いというが本当なのか。(総務) |

令和 5 年 6 月 6 日　議会広報広聴委員　　肥後　孝俊

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 17 日（水）18 時 30 分～20 時 00 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>浜田まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>2</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村木勝也、佐々木豊治、牛尾昭</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・子ども(児童・生徒)の人数が少ない。<br>・ボランティア活動は、孫がいるあいだに関わるが多い。<br>・不登校について、浜田市として独自の学校をつくってはどうか。<br>(佐々木議員が不登校特例校を説明)</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・コロナワクチンの問題<br>・ワクチンを打って被害(副反応)が出て 40 日間入院した。ワクチンを打って生活が変わった。<br>・ワクチンを打って亡くなった人がたくさんいる。<br>・ワクチンを打って流産が増えている。<br>・ワクチンを打って精子が少なくなったりで少子化につながっている。このことは、大変なことである。取り上げてもらいたい。<br>・泉大津市の市長のように浜田市においてもワクチンに反対してほしい。<br>・皆さんでこの DVD を見てほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・萩の方では、大島丸船団が、JAF を通さずに直接市場とやり取りをしている。浜田もできないか。<br>・グレーチングがひつような個所がある。<br>・公園が荒れ放題である。管理してほしい。<br>(市の公園はそんなに荒れていない。民間主導の公園ではないかと牛尾議員)</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・まちづくり交付金について、片庭は 70 万円でているが、使い道に困っている。もっと有意義な活用ができないか。（総務）<br>・全体的に人が少なかった。（広報） |

令和 5 年 6 月 6 日　議会広報広聴委員　村木勝也

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 19 日（金）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>小国まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>13</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村木勝也、佐々木豊治、牛尾昭</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・子ども達に元気をもらいたい。小国にしかできない行事が出来たらよい。<br>・サポートしている人が高齢化している。高齢者の知識を子ども達に伝えたいがどう進めればよいか。<br>・子ども達は保育園２人、小学校２人、中学校１人。小国保育園の灯をともし続けたい。<br>・地域の事業は親子で参加できる事業にしたい。<br>・支所の紹介で浜田や金城の他地域からのセンター利用がある。（金城防災自治課に小国の職員がいる）<br>・家だけに任せるのではなく、地域で子どもを見守りたい。地域が良い背中を見せたい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・田んぼやるために健康管理が大切であり意識している。<br>・波佐の診療所にたいへんお世話になっている。可能であるならば、前のように当地にも診療所がほしい。<br>・介護タクシーや路線バスの運行において、ニーズに合った内容（特に時間）にしてほしい。<br>【回答が必要】<br>・スポーツも健康の項目である。今の課題は、世話をする人がいない。謝金を出したくても補助金が少ない。100 歳体操や 3B 体操は福祉であったりスポーツであったり介護予防であったりコミュニテイーでもあるここを大切にすべきではないか。<br>・介護保険の保険料において、4 階層と 5 階層で住民税の差なり反映されるので制度の見直しを要望したい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・高齢化、人手不足、後継者不足どうすればよいか。（まちづくりがどのように関わり、対策していくのか）</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ・市道、県道の草刈りが大変であり、補助も充実してほしい。<br>・若者の定住を促してほしい。<br>・共同造林をどのようにしていくのか。<br>・浜田の港にもっと魚が上がってほしい。<br>・市道、県道をしっかり管理してほしい。<br>・圃場整備等の事業を進める際に、在住者とそうでない方との調整が困難である。<br>【回答が必要】<br>・オーガニックビレッジ宣言はしたものの受け皿がどうか。<br>・農業施策において腰を据えた事業をやってほしい。<br>・農業支援センターが当初の目的より大きく後退している。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>・空き家や住宅に関する補助金制度が知りたい。(後日回答済) |
| | 【持ち帰るもの】<br>・浜田の魅力を考えてほしい。<br>・郷土資料館に行った。あの状況を見たら、提供した方は悲しむ。早急に対応すべき。(総務)<br>・そもそも資料館が市街地にいるのだろうか。空き施設の利用も考えるべきではないか。(総務)<br>・今の若者が、自然に子どもを産み育てる機運の醸成を図る施策を考えてほしい。→労働者の非正規雇用も問題の一つではないか。(産業)<br>・当地のように高齢化率が高い地区に「気遣って」ほしい。予算のバランスを考えて、思いやりのある施策を願う。(総務)<br>・浜田港にかなりの費用を投資しているイメージがある。今後の漁獲、市場等に不安がある。潜水艦を呼ぶことも提案したい。(総務、産業)<br>・今年度から金城支所の整備に入るが、なるべく早く金城支所の整備をしてほしい。できれば、小さくてもよいので、現在地に建て替えてコンパクトな施設を考えてほしい。(総務) |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　村木勝也

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 26 日（金）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>久佐まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>7</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村木勝也、佐々木豊治、牛尾昭</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・子どもの人権条例を進めてほしい。<br>・学校統合で子どもの顔が見えなくなり、関われなくなった。<br>・まちづくりセンターを子どもが集う場所にしたい。<br>【回答が必要】<br>・久佐小学校のグラウドを整備してほしい。一年中使えるグランドにしたい。グランドゴルフを子どもを巻き込んで行いたい。地域の運動会も行っている。<br>・まちづくりセンターを夏休みの子どもの居場所にしたい。必要な道具を整備してほしい。（卓球台・カローリング・フロアーで遊べるもの）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・健康づくりとは「運動」すること「食べること」そして「話すこと」である。<br>【回答が必要】<br>・社協のコーディネーターがおられなくなって活動が停滞している。なぜ、このようなことになったのか。さっきも言ったように「健康づくりとは・・・」ここをコーディネーターさんはちゃんと考えていた。<br>・特に中山間地にはコーディネーターが必要であり、サロンは、入口である。福祉・介護予防・医療費削減・コミュニケーション(社会参加)等少ない費用で大きな効果が得られる。お金がないから辞めますではない。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・農協の支所や金融の撤退はかなり厳しく、生活に影響が。<br>・米価においてコストが価格に反映されない。<br>・年々耕作者が減ってきている。とても不安だ。<br>・ドローンを使った作業は、かなり時短なり、労力軽減になっている。<br>・農業普及員を最近は見ない。<br>・食改では菊芋を一つの事業として取り組んでいる。<br>【回答が必要】<br>・中山間特別委員会の提言をどのように施策に反映されたか検証しているのか。<br>・農業支援センターが指標を示してほしい。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>・国の異次元の子育て支援を浜田市では、どのように取り組んでいるのか。（施策を説明、不妊治療はトップ、伴走型子育て支援等）<br>・適齢の方が浜田に住んでいないことをどう考えるのか。（若者ファンドを説明）<br>・飲酒同乗の件について、議会としてチェック機能が働いていないのではないか。（議会の見解を説明） |
| | 【持ち帰るもの】<br>・全国で大きな地震が起きている。浜田地震から 150 年がたち、可能性が高くなってきているのではないか。（100 年周期）浜田市は大きな地震への対応を考えているのか。また、その際食料自給率も低いため心配。（総務、産業）<br>・空き家対策を進めてほしい。高知県梼原町の取組事例。（総務）<br>・久佐の佐々岡邸を保護してほしい。門も石垣も他にはない。残してもらいたい。また、久佐の地芝居「松竹座」も支援し守ってほしい。（総務）<br>・敬老乗車券の上限額を引き上げてほしい。（総務）<br>・敬老乗車券の名前を一考してほしい。（総務）<br>・若者に生活支援費を出したらどうだろうか。（総務） |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　村木勝也

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 28 日（日）10 時 00 分～11 時 55 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>都川まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>15</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村木勝也、佐々木豊治、牛尾昭</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・地域での行事、たとえば陶芸教室などに子どもにも入ってもらった。（夏休みの宿題の手伝いに）<br>・部活動が自由になり、勝つ喜びがなくなり、体力格差にもつながっているのではないか。一流選手も出にくくなる。<br>**【持ち帰るもの】**<br>・地域で子ども達との関わる行事や居場所の取組を行っても、距離があるため、その場所まで子ども達を送迎が必要になってくる。その対応をどうするのか。<br>・７人の子どもが住んでいるが、この地域の良さを知ってもらって卒業してもらいたい。伝える機会があれば案内したい。地域では企画力がないので教えてもらいたい。<br>・学校教育のなかのテーマで地域を回ってもらい、ふるさと教育の一環で学校に取組んでもらいたい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・コロナワクチンの集団接種が可能となった地区まちづくり委員会の取り組みをお聞きしました。<br>【回答を要する】<br>・近くの病院（医院）において、十分な駐車場を確保してほしい。（市外含む）<br>・インフラの整備が進み、しまね医療情報ネットワーク（愛称：まめネット）が活用できる環境を望む。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・JA の統合、金融廃止の問題<br>・海の日のイベントがあっても「みどりの日」のイベントがないことがおかしい。<br>【回答を要する】<br>・浜田市街地でのイベントである、浜っ子春・夏まつりは、市なり観光協会が経費をみているのに、旭や金城等のイベントは、公費がみられていないのではないか。旧浜田の代表的なまつりと他の地域とのまつりの費用負担を教えてほしい。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>・県道、市道の支障木等の枝切について<br>→新森自治まちづくり会長が回答(市道は早期対応してもらっている。)<br>※議員からも予算をよりつけていただきますよう申し添えをお願いします。 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・まちづくり総合交付金に面積割をつくってもらったが、「寒冷地加算」を追加で検討してもらいたい。(総務)<br>・あいのりタクシーは利用者が多くなっている。買い物や病院だけでなく、規制を緩めて、娯楽などにも利用できるようにしてもらいたい。(ひな人形を見に行くのはだめだった)(総務)<br>・補助金の「ひもづき」を緩めてもらいたい。市街地と周辺部では環境が違うため、同じ制度でも負担が違う。(総務)<br>・たとえふるさと教育をやっても子どもは、帰ってこない。なぜか。やはり給与格差であると考える。生活基盤を上げるように議会も動いてほしい。(産業) |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　村木勝也

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月19日（金）18時30分～20時55分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>黒沢まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>12</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>大谷学、村武まゆみ、上野茂</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>○神楽伝承の場は地域の大人と小中学生の相互理解や文化継承への有意義な機会となっているので、学校でも神楽文化に触れる機会を増やしてほしい。<br>○子どもたちが伝統文化に触れる機会を増やしてほしい。<br>○スポーツなど子どもが学べる間口を拡げ定住につなげてほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>○上水道の水温が高く食中毒等が心配。早急に原因を究明し不安の解消に取り組んでもらいたい。<br>○敬老乗車券について：黒沢地区は三隅や浜田市の中心地に出るのに大変距離がある。15冊では到底足りない。<br>○様々な制度が本庁に集中。申請や問合せが支所で短時間に完結しないことが多い。本庁に行くことは交通費もかり大変。<br>○黒沢地区では独居高齢家庭向けに見守りも兼ねた弁当配達をしている。もっと広めたい。<br>○認知予防対策が進んでいないと感じる。もっと地域に丁寧な支援活動をして欲しい。保健師などにももっと地域を理解して欲しい（こまめに実情を見て欲しい）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>○米農家が報われる状態ではない。米価が上がるような政策を国に取り組んでもらいたい。県や市も農家経営を支援してもらいたい。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>○神楽等のイベント情報を知りたい。<br>⇒「夕日パーク浜田」の情報コーナーに紹介されている。 |
| | 【持ち帰るもの】<br>＜総務関係＞<br>○子どもが幼くても将来を思い、先々入学を想定する中学や高校の事は考えている。他市や他県からも入学者が現れるような特色のある学校づくりを目指してほしい。<br>○保育や学校の関係者と地域住民との直接的に関わりが減少しているので機会を増やしてほしい。<br>＜福祉関係＞<br>○まちづくり地域計画書の作成を求められるが、その計画書を作成することもできない位の少ない地域もある。計画書作成が目的ではなく、地域まちづくりが進むことが大切なのではないか。<br>○民生委員・児童委員の担い手がいない。一人の方に任せるのではなく、組織として受けるようにしてもらえると複数人で地域の高齢者や子供を見守ることができる。<br>＜産業関係＞<br>○矢原川ダムの早期建設を強く希望して欲しい。（議会で特別委員会を作って）<br>○農業振興にもつながるようなツーリズムの促進を。 |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　大谷　学

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 20 日（土）18 時 00 分～20 時 25 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>石見まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>大谷学、小川稔宏、上野茂</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>提言意見はなし</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>〇コロナ５類移行後のマスク着用の必要性について<br>〇浜田圏域の医師の充足率を高める努力をしてもらいたい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>〇浜田が目指す儲かる農業とは？目標とする所得額？認定農業者の経営の安定化に向けて支援をすべき。計画設定が高く計画目標額に到達している農家は 1/4 程度。<br>〇就農モデルや品目別の収益率など営農の基礎データを島根県はネット上に公開し活用環境を整えるべき。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>○石見交通への補助金額は？<br>⇒赤字補填として１億数千万円程度<br>○駅前の賑わい創出として岩田屋の活用は？<br>⇒大学の街としての賑わい創出考えているが、個人所有の建物でもあり難しい。 |
| | 【持ち帰るもの】<br>＜福祉関係＞<br>○バスの便が悪い。デマンド交通など高齢者の足の確保を、敬老タクシー券の増額を要望したい。<br>○幸福度向上が住みたい街の目標であるべき。総合振興計画の目標値を見直しが必要では。<br>＜産業関係＞<br>○高速バスの送迎時に駐停車可能な台数が少ない。タクシーの待機スペースを一部開放してはどうか。<br>＜総務関係＞<br>○長沢サブセンターの建設費が当初の計画案より大幅に多くなった理由は。公共施設の削減計画が達成できていない。箱物ハード事業からソフト事業の重視への転換が必要では。 |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　大谷　学

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 25 日（木）17 時 00 分～18 時 37 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>子育て世代包括支援センター</td><td>参加人数</td><td>2</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>大谷学、上野茂、岡本正友</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>○幼児を遊ばせる公園が少ないと感じる。<br>○広島等の都市部にもない特殊なアイススケート場は浜田のPR 施設として少々の赤字でも存続させるべき。利用しない大人の声ではなく、声なき子どもたちのためにも維持すべき。県大生等に PR ができておらずもったいない。<br>○浜田は海や山がすぐ近くにあり、これらを活用したスポーツ王国を目指し定住につなげるべき。<br>○観光を考えると郷土資料館など月曜定休は改善すべき。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>○美又温泉の落語活動は評価している</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>（質問はあったが提言等はなし）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td colspan="3">【回答したもの】※回答概要も記載<br>＜総務関係＞<br>○コンサルタント業者における調査の必要性は？<br>⇒計画策定等における行政の調査等の能力が及ばない部分について国県の予算を活用して依頼しているので理解を<br>＜産業関係＞<br>○養殖漁業の取組の現状は？<br>⇒マルハニチロ(株)等との経緯を説明。<br>○4 号市場完成後の変化は？<br>⇒市場における設備の認識違いについては説明し理解していただくと共に仲買等のシステムの違いについて説明。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【持ち帰るもの】<br>特になし</td></tr>
</table>

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　大谷　学

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 31 日（水）18 時 00 分～20 時 00 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>今福まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>5</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>大谷学、柳楽真知子、上野茂</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>〇子どもが少なく、中学校もなくなった。若者の働く場と子ども支援にもっと力を入れてほしい。<br>〇高校の寮費が高い。中央高校は 38,000 円だが浜高は 50,000 円<br>〇給食費は所得関係なく無料にしてほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>〇交通弱者も増えバス停までもいけない人が増えている。あいのりタクシーやまちづくり（おてまえさん）で対応している。<br>〇活動するほど金が要る。総合交付金の人口、面積配分を考え直してほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>〇農業だけで食べていけない。今さら投資もできない。米価の安い今、圃場整備をすべきと思う。西部は遅れている。<br>〇杉の伐採後針葉樹は植えないでほしい。花粉で困っている。<br>〇農家が出していた漬物など加工品が大きいグループないと出荷できなくなった農家の楽しみがない。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>○生活支援社協から市へ、浜田市はできるのか。<br>⇒地域の皆さんの声を聴き、執行部、担当委員会とで<br>○美又温泉は３０キロ圏内に海、ゴルフ場、いちご狩り、馬などの観光資源があり、観光客誘致に活かされているか。<br>⇒先日、美又温泉等の交付加価値化が採択された、足湯など、観光客誘致に向け取組が強化される。 |
| | 【持ち帰るもの】<br>＜総務関係＞<br>○まちづくり総合交付金の見直しを検討してほしい。<br><br>＜福祉関係＞<br>○バスの便が悪い。デマンド交通など高齢者の足の確保を。<br>○敬老タクシー券の増額を要望したい。<br><br>＜産業関係＞<br>○列車に乗るための浜田駅近くに駐停車確保してほしい。 |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　上野　茂

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 19 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>長浜まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>2</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>１、ソフト事業を充実させてほしい<br>各地域で様々な活動がされているが行政支援は特段ない。まちづくり推進委員会を通じたもののみ。まちづくり推進委員会を通さないと申請できないのはどうか。例えば未成線の散策などのイベントには地域の人しか来ない（来にくい)。営利目的でない活動に対して支援する策があっても良いのでは。若者に対する活動支援の充実を。ハコモノより効果あり。<br>２、地域の情報がわからない<br>地域との関わりが自分の地元（県外）にはあったが、浜田では小さな地域の祭りがどのように行われているかわからない。子ども会単位が集まりやすい環境。逆に、地元では、地域井戸端会などはやっていないし（知らない)、市議会を身近に感じられる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>２、計画達成できるような支援体制の構築をしてほしい<br>認定農業者が 50 経営体ある。目標達成している農家は内 11 しかない。認定を受けているのに生活が成り立っていない状況。県は市町村の状況を把握していない＝認定するのは市町村だから。施策の一貫性はあるのか？計画が甘いものを判定会議で通している。採れない収量を書いたり。認定農業者は基本的に更新。借金するときに厳しくなるから。判定会議にかける前に計画に無理があることを指摘して、計画がクリアできるようにサポートするのが必要では。チェック体制の充実を。金融機関が決算書などをチェックするので把握する。役場とは共有できない。認定農業者５年に一度市の調査受ける。浜田市は数年前までは中間チェックもし</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ていた。真剣に付き合ってくれる職員（JA でも普及員でも）がいない。対応をマニュアル化してはどうか。実現可能な計画を作れる支援体制を築いてほしい。担い手の数が増えてもだめ。KPI の設定が誤っている。所得目標の設定にした方が良い。<br>→（参加者）スマート農業の推進は？<br>→（参加者）あまりお金をかけずにスマート化もできる。環境制御できるハウスは設備投資が大きすぎて無理。トラクターの GPS 化も進んでいるけど、ある程度の出荷量出さないと採算取るのは難しい。産出額が上がるとか、市の目標を立てる必要がある。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>４、これからのエネルギー問題について<br>新しい産業に着手すべきだ。新しい燃料が生まれてきている。成長産業だ。先行者利益を得られる可能性大きい。水素トラックなども出てきた。地方から整えていく必要がある。大きな資本を持ってくる努力はしているのか。所管事務調査をかけてほしい。<br>→（柳楽）他自治体でも取り組みされている。環境に優しいエネルギーを選択することは良いこと。邑南町で電気自動車導入などもされている。浜田市では風力発電やっているが、事業者がいないとできない。委員会には持ち帰るが、所管事務調査については優先順位を決めなくてはいけない。<br>→（参加者）先行者利益と言われたが、水素自動車がどれだけ増えるのか。人口減少もある。商売やる人が投資しない。早くやることのメリットはない。行政が先行して産業を創ることは難しい。スタートアップを支援する方がいい。限られたお金をどう使うか。得られる効果が少ない。 |

| | |
|---|---|
| | 【持ち帰るもの】<br>▸総務文教委員会<br>１、まちづくりセンターの役割は何か？<br>行事を企画しても人が集まらないと言うのは魅力がないから来ないということ。学校としてのカリキュラムでやることとまちづくりセンターの行事は異なる。まちづくりの拠点というが、まちづくりとは何か。浜田市をよくしようとする活動と条例に書いてある。誰でもどこでも実行できる。まちづくりセンターがなくてもできる。近くの人は来るけど、来ない人の方が多い。各自治会館とか集会所があるが。長沢のサブセンターが本当に必要か？想定される利用者数など、どういう需要があるか調査していない。違和感がある。<br><br>２、公共施設の延べ床面積が増えていることに対する問題意識を<br>再配置計画の見直しが必要ではないか。単価の変動が大きく影響している。まちづくり社会教育課担当課の回答では、長沢のサブセンターの見積もりを取っていないと言うことだった。どうか。建築住宅課にも確認している。<br><br>３、財産の位置付けが不明確<br>公共施設総合管理計画は普通財産と行政財産が混同している。総量で管理するべき。増えるからやりたくないのでは。 |

令和５年６月３日　議会広報広聴委員　　沖田真治

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月23日（火）18時30分～20時45分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>今市まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>12</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td>テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>▸文化の継承の機会提供が少ない<br>・神楽など引き継げなくなっている。守っていきたい。<br>・保護者世代にも伝わっていないので、さらに子供には難しい。神楽は比較的受け入れられているが、田ばやしなどは厳しい。<br>▸団体活動が難しくなってきている<br>・団体スポーツができない。<br>・文化活動はスポーツよりも難しい。理科教室などがあると嬉しい。理数離れ対策にもなるのでは。<br>・コロナ明けのサポートが難しい。<br>▸まちセンに関係構築を期待したい<br>・自分の頃を思い出すと公民館活動に参加していた。<br>・保護者の取り込みが課題。連鎖的に巻き込む。<br>・物事を教えてもらう機会があると嬉しい<br>▸子供たちが忙しい<br>・事業への参加が難しい＝関わりが少ないからどこの子どもか分からない＝地域のおじさん、おばさんに関われない。<br>▸子供会のこと（存在だけでなくそもそもの目的）を知らない保護者が多い<br>・連絡先が分からないので一軒一軒情報伝達する必要がある。<br>・個人情報の取得・管理が難しい。学校は子供会に関与しないので。<br>▸団地の方々へのコンタクトが取りづらい<br>・構造上、声がかけづらい。<br>・まとめて暮らしているエリアの人たちとの関係構築は地域の課題。民生委員に相談してくれたら協力できる部分ある。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ・文化活動はスポーツよりも難しい。理科教室などが　あると嬉しい。理数離れ対策にもなるのでは。<br>→20年くらい前はあった。出会い・経験を経て子供に　選択を。<br>▸子供だけ、高齢者だけの集まりが多い<br>・混ぜて実施したら良いのでは。同居している人も少なくなっているのが原因？一緒にいたら昔の話も聞くことができる。<br>→サトラボの狙いはまさにそこ。<br>→食などテーマ設定すれば幅広い世代が集まれるのでは。<br>→都川、市木、木田など小学生がいない地域は活動が難しい。<br>→今市は子供が多い。スケッチ会などで出向くと見守りなどしてくれる。意図的に機会をつくらないと。昔は、隣の家がもちつきしていると声かけたりしていた。<br>→大人側から関係構築の余白を示すことが必要。<br>→まちセンが学校とのコーディネーターしている。できるだけたくさんの人に接点作ろうとしている。顔見知りの関係をどんどん広げることが大事。 |
| | 【福祉環境】健康について<br>〇サロンについて<br>・高齢者が高齢者を世話する状況なので、サポーターが必要。また、サロンのメニューにも苦労をされていて、外部講師を呼ぶための申請手続き等も大変。<br>・5 年後、10 年後のサロン活動がどうなるか心配。<br>・サロン参加者が少なくなっている。参加者を増やすにはどうしたらいいか。<br>・サロン会場に行くための移動手段がない。（免許返納等で）<br>・地域のサロン活動の予算。<br>〇良い取組として<br>・サロン地区内３か所のお世話している方たちの「お世話さん会議」をしたり、あいのりタクシーを活用して、参加者交 |

| | |
|---|---|
| | 流会を行った。<br>・今後、若い世代との交流も含め、食や暮らし・文化の伝達もおこなってみたい。<br>〇運動について<br>・コロナで様々な制約もあり、運動不足になっている。<br>・運動を促すための適度なおせっかいも大事では。<br>〇良い取組として<br>・毎週１回、百歳体操を行っているサロンでは、月１回、食事も一緒にされている。<br>・浜田弁の百歳体操はとても良い。<br>〇社会参加について<br>・コロナによって交流活動もできなくなり、高齢者たちと子どもたちの接点があったが、一度しなくなってしまうと再開が難しくなった。（止めるのは簡単だが、再開は大変）<br>・集うことが健康づくりになるので、社会参加のできる場づくりが必要。住民や行政がその場づくりを意図的に仕掛けることが大事だと思う。<br>〇食について<br>・塩分の摂りすぎ。<br>・若者の食生活に対する意識付けが必要。食改さんとの接点も若い人は少ない。<br>・計算された食事を体験することもいいのでは。（給食の試食など）<br>〇その他<br>・健康な内はその価値に気付かない<br>・体の健康だけでなく、心の健康も心配 |

| | |
|---|---|
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・猪などによる有害鳥獣被害も深刻である。<br>・オオサンショウウオの外来種がアユ、ウナギなどを食い荒らす（八戸川）ため駆除してもらいたい。<br>・林業振興が十分とは言えないように思う。森林組合の職員数も十分ではない。山林を整備することにより人里へ猪やクマなども減るかもしれない、林業に力を入れてほしい。<br>・農業従事者の高齢化と担い手不足が深刻。加えて有害鳥獣被害により地域は疲弊している。解決策として集落営農組織を立ち上げるための支援が必要。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>・「川上である旧那賀郡に多くの住人がいきいきと暮らされることにより、上流から栄養分豊かなきれいな水が下流の日本海へと流れ込む。それにより川下の水産浜田が再生される。」とのことだが旭の八戸川は江津に流れ込むので残念ながら浜田の海には流れない。<br>⇒海には市域はないのですから、旭の山の栄養分はきっと浜田港に水揚げされる海産物に大きな恵みをもたらしていると思っています。そんな寂しいことを言わないでください。（沖田） |
| | 【持ち帰るもの】<br>【総務文教】自由意見<br>三浦担当<br>▸あいのりタクシーが使いやすいといい<br>・利用しづらい・・・好きな時に出かけられない。<br>→好きな時に出かけられない。曜日・時間が決まっているから。タクシー補助は費用がかかりすぎて現実的ではない。<br>→みんなが使いやすい仕組みが必要。<br>→あいのりタクシー補助は一律？申請？<br>→利用上限額の撤廃、高速バスで利用できるようになったのは嬉しい。<br>▶旭→浜田のバスがいっぱい（今年は多い）<br>・補助席利用しなくてはいけない。 |

| | |
|---|---|
| | 柳楽担当【課題】<br>・各種団体の役員のなり手不足によって、解散の危機にまでつながっている。<br>・人口減少によって経営が成り立たなくなって、公共交通、金融機関、商店などが無くなるなど、生活基盤が減少してきている。（この先支所もなくなるのかな）<br>・運転できなくなった時の移動手段が心配。<br>・コロナによって様々な事業ができなくなって、人間関係が希薄になっている。<br>・文化と暮らしの伝承が家族間でもできていない。<br>・若い人は物質的な豊かさを求め、都会に出る人も多い。ほかの豊かさを PR して若者の参加を促す仕掛けも必要。（幸せの物差しはひとつじゃない）<br>・自分ごとにできる仕掛けづくり。<br>【良い取組】<br>・行政連絡員の提案で、集落の LINE グループを作っている。安否確認や災害時の避難の手助けにもなる。<br>沖田担当<br>・通学路でも法定速度を守らない車が多い。<br>・自治会、まちづくり組織などの役員に若い人がなりにくく、高齢な方が役員を務めている状況。ITC 活用の仕方、スマホ教室などを行い、使いこなせるようになることで会議や連絡などの負担軽減を図ることが出来ると思うので運営を含む助成などを検討してもらいたい。<br>・旭町から JA の支店が撤退し更には ATM も故障が多くて、特に高齢者は困っている。<br>・交通手段が少ない。今後は免許返納者が増えていくので何らかの移動手段の確保を検討していただきたい。<br>・高齢化により草刈り作業の維持が困難。国府海岸などは市内全域の企業や団体がボランティア清掃などを行うが中山間地の保全のためにボランティアする団体はない。市民の中山間地（旧那賀郡）に対する無関心、温度差を感じる。 |

| | |
|---|---|
| | 中山間地の保全にも目を向けて企業、団体がボランティアで環境整備など行う仕組みづくりができればよいと思う。<br>・米軍機の騒音問題を旭町の問題ではなく全市的な問題として捉え考えてほしい。<br><br>【福祉環境】自由意見<br>三浦担当<br>▶資産管理ができない<br>・山、空き家、土地などを国に返したい。<br>柳楽担当<br>・高齢者の 2 人暮らしで先が不安。緊急事態が起きたときに頼ることができるように、普段からの人間関係を作ることも大事。(見守りなど)<br><br>【産業建設】自由意見<br>▸集落営農の組織がない（5年後、10年後の農林業が不安）<br>・機器購入補助も個人には出ない。<br>・次の世代で変わらないと農地保全が本当に難しい。<br>・担い手：専業農家は 2 件。両方 15 ヘクタール。<br>【協働のまちづくり】<br>・合併して 10 年以上が経過したがいまだに一体感が感じられないように思う。例えば地域の産品、農産品を各地域で行われているあさイチや産業祭などにお互いが出向いて売りに行くことでわだかまりなく民間レベルで交流が出来る仕組みを構築してほしい。行政が主導してもなかなか難しいと思うので民間人の代表である議員の皆さんに期待したい。 |

令和５年　６月　３日　議会広報広聴委員　沖田真治

# 令和５年地域井戸端会　報告書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日時 | 令和５年５月 25 日（木）18 時 30 分～20 時 40 分 | | |
| 開催場所 | **安城まちづくりセンター** | 参加人数 | 10 |
| 出席議員 | 三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子 | 議長 | ○ |
| テーマ別に出た意見 | 【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>▸学校を通しての地域活動は行っている<br>・小学生：低学年だと弥栄の季節を感じる会。（家庭科、総合学習）<br>・神楽：クラブ活動としての発表会（保育園からやっている）<br>・中学生：自分たちで地域学習の機会があって、地域を回って話を聞くなどの活動で関わりがある。<br>▸地域に帰った時には集落によって差がある<br>・寺組は子供会がない。声をあげる人がいない。<br>・旅行、盆踊り、運動会、クリスマス会など、やっている集落（西の郷、野坂）とやっていないところとの地域差がある。<br>▸それぞれのステージで差がある<br>・高校になってくると通学、下宿になるとどうしても関係希薄になる。<br>・地域の方々の顔は知っている。（挨拶する関係）<br>▸部活動が少ない<br>・中学校：合唱、陸上の二つ。以前は柔道などで村外に出ているケースがあった。<br>・サッカー、水泳などは習いに出ているので、地域外で過ごす子どもたち多い。<br>▸地域活動は、高齢者＆子供をターゲットにするとやりやすい<br>・まちセンでの計画は、3 世代交流を意識。<br>・夏：川遊び・・・小学生 32 名/40 名、手伝いも十分<br>・冬は餅つき・・・児童クラブと一緒に開催<br>・家庭料理もいいコンテンツだが、料理は学校に入って家庭科の授業でやる。<br>・学習支援を行っている。学習の習慣化が目的。学校帰りに寄れるが、一度帰ると親の都合で送迎が難しくなる。<br>・「やいち」にも子どもたちがやってくる。 | | |

| | |
|---|---|
| | ▶浜田高校への進学は寮生になることが必須<br>・商業への通学にはバスの時間がちょうど良いが（6 人）、浜田高校へは間に合わない。<br>・定期券補助は受けていても交通費の負担は大きい。 |
| | 【福祉環境】健康について<br>・これまでの生活支援コーディネーターが来られなくなって不安。<br>・若い人との考え方のギャップがあって、戸惑うこともある。<br>・若い人は、休日は自分の時間も持ちたいので、地域行事に出にくい。<br>・世代間をつなぐ役割の人がいるといい。<br>・サロン活動も人数が少なくなって、今後どうなるか心配。<br>・サロンに参加しない人への支援が必要。<br>・高齢者夫婦世帯のどちらかが無くなった後の、残された家族への支援も必要。<br>・小さなサロンを大事にすれば、見守りにもなると思う（相互の見守り）<br>〇良い取組<br>・防災行政無線を活用して、午後 3 時にラジオ体操を流している。コロナ禍になってから、小学生の「自分たちもコロナに負けないで頑張っているので、皆さんも健康に気をつけて頑張りましょう」というアナウンスも流している。 |
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・有機農業の生産は定義を第一に考える。市が進める有機農業、みどり戦略への取り組みは間違っている。<br>・第 1 種農地だけ考えられるが第 2 種農地への政策がない。<br>・センチピートによる水田畦畔の草刈り作業軽減政策の実態は除草剤の耐性ができた雑草が繁殖してしまった。<br>・日本の主食はパンになり米の消費が落ち込んでいる。小麦の価格が高騰している。小麦の代替えとして米粉、米麺、アイスクリームなど米の出口戦略を民間と行政で構築してほしい。 |

| | |
|---|---|
| | ・農作物にとって海藻は肥料とは違う形で良質な効果があると言う研究結果がある。研究してください。<br>・昆虫が激減し露地野菜生産者は将来が不安。<br>・農業法人化したことにより地域が２分化してしまっている高齢な農業者は組織に入れないことにより農業が存続できない事態にもなってきている。行政は地域の声を聞いて実情を把握し地域の実情に沿った支援をしてほしい。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>【総務文教】<br>三浦担当<br>・放課後デイサービスにおける不登校児童のサポートはどうなっているのか。<br>・弥栄地域内の保育園が統合した。朝晩の送り迎えが厳しい。小松ファームなどで働く人たちも送り迎えが負担になった。<br>・子どものころは親の働く姿を見ながら育ってきた。会社勤めだとなかなか叶わない。年に一度会社に呼ぶなどしているところもあるが。小学校の高学年になれば米作りに参加しながら、ものづくりの大変さを知った。学校教育との兼ね合いもあるが、そういう機会をたくさん作るべきだ。<br>・学校がバリアを張っている感じがする。保護者以外の大人と小学生との距離を遠くさせている。プライベートブランドで学校給食に米を納品していた。当時は栄養士とのコミュニケーションがあった。それをやめたら、学校との関係がなくなった。子どもとオーケストラを一緒にやろうと企画をしたが、けんもほろろ。一緒にやろうという理解・姿勢を見せてほしい。住民側からの提案も柔軟に聞いてほしい。<br>・空き教室はないと教育委員会は言う。未利用教室であると。おかしい。<br>・不登校児童とは、校門をくぐれない子達のこと。≠授業を受けていない。その数は新学期になったらリセットされる。正確に把握できているとは言えない。 |

| | |
|---|---|
| | ・飲酒は懲戒免職の扱いだった。処分がされていない。<br>柳楽担当<br>・人口減少で集落の維持が心配。<br>・相談窓口があってもそこに来る人ばかりではない。出向いて情報を収集することが大事。<br>沖田担当<br>・高齢化が進む旧那賀郡の地域に興味を持ち関わろうとする若者が地域に関わってくれることで地域が活性化される。<br>・一日議会の学生が利用できる移動手段の構築してほしい。<br>・草刈り作業をする人が高齢化している。何らかの対策を検討してほしい。<br>【福祉環境】<br>・福祉計画の策定委員会の委員になっていて、内容について意見を言ったが回答内容に納得できない。<br>・福祉が重要。弥栄に入っていた生活支援コーディネーターは地域にしっかり入り込んで、意見や要望を聞いていただいていたが、辞められて残念。<br>・杵束にできた公園は、この公園に行けば友達がいるという良い効果で、人が集まっている。<br>・島根県東部と西部の福祉に対する温度差が全く違う。<br>・緩やかな見守りは住民同士で、積極的な見守りは民生委員や社協や行政だと思う。<br>・肥料をプラスチックでコーティングしたものが使用されているので、それが川から海に流れて汚染している。家庭からのマイクロプラスチックも環境汚染につながっている。<br>【産業建設】<br>三浦担当<br>・体験村は、都度都度問題が出ていた。ミツザクラの神楽館もプロセスが出来レース的。お魚センター出資者への支援7,000万円も理にかなっていない。<br>・神楽やっている若者は会社を早退しなくてはいけない。神楽館より先に支援するべき。 |

| | |
|---|---|
| | 柳楽担当<br>・農事組合法人があることで、出番が無くなった人たちもいて人間関係が希薄になってきているように感じる<br>・地域の夜神楽も観光のひとつにして頂きたい<br>沖田担当<br>・農業従事者の高齢化対策と後継者育成制度。 |

令和５年６月３日　議会広報広聴委員　　沖田真治

# 令和５年地域井戸端会　報告書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日時 | 令和５年５月 29 日（月）18 時 30 分～20 時 45 分 | | |
| 開催場所 | **岡見まちづくりセンター** | 参加人数 | 5 |
| 出席議員 | 三浦大紀、沖田真治、柳楽真智子 | 議長 | ○ |
| テーマ別に出た意見 | 【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・まちセンと子どもたちとの関わり方は深い。登校の見守りもしている（7年間）。コロナで関わりが少なくなってきている。マスクや会話を減らしたことは大きく変わった。<br>・中電の社宅がある。小学生が2家族3名。毎回、所長に家族手当を出してほしいと言ってきた。学校がないところに人は住まない。家族は来ない。もっとPRしてほしい。そのための企業ではないか。7年前は12名いた。前は家族で来ていた事例も多かった。地域でもしっかり応援する。固定資産税だけの話ではない。<br>・発電所関係の船籍原簿が浜田にあることで税金が落ちている。<br>・三隅保育所に勤務。子どもの数は減っている。子どもたちが少ない中でも育つ環境を作ることが大事。地域との接点増やそうという取り組みしている。状況改善も必要だけど、今いるこどもたちをどう育てていくかが重要。地域の方が保育所や小学校に関わることはいろいろできる。<br>・保育園のすぐそばにまちづくりセンターがあるのは良い。小さな地域だからこそできることがある。田植えや芋の苗植えなど。知っているから声かけやすい関係性。みんなで関わろうとしているのが良い。コロナ前は宮の祭などを町ぐるみでやっている姿があった。<br>・隣町から見て、神楽の練習などに関わっているのが良い。<br>・放課後デイサービスに対して爆発的に予算が増えている。それだけ増えているのは需要があるか、儲かるか。整理すべきでは。地域間格差があるのも問題。<br>・中学生の部活動が義務化ではなく自由になった（なぜ）。地域活動も位置付けてもらえば良いのでは。生徒たちがそこに出られるか。中学校くらいになると地域に出てきにく | | |

| | |
|---|---|
| | くなる。<br>・まちづくりには新しい考え方も必要。子どもたちに関わってもらうと新しい視点が入ってくる。 |
| | 【福祉環境】健康について<br>（健康寿命が県内でも低いことが問題という現状から）<br>・3B体操やっている。みんなが顔を合わせることが健康の秘訣では。笑いながら話しながら。近所の方々はアクアみすみに通っている。積極的に利用されたらどうか。<br>・JAのところでは、皆さんが出てくる時に血圧を測ったりしている。そういう時にミニ講座などを入れてくれると考える機会になるのでは。<br>・社会協議会の生活支援コーディネーターがいなくなったことが不安。自己管理の問題ではあるが。見守り：自分の健康のために行っている。そうでないと毎日歩けない。1日1万歩。<br>・はまチャレも健康寿命を伸ばすための取り組みでは。友人も取り組んでいるというのを聞く。<br>→運動・食事・集うというのがテーマ。<br>・漁師町は塩分が高めと言われる。味見もせずに醤油をかけてしまうようなことはだめ。気にしすぎるとご飯が美味しくなくなる。<br>・食改さんが塩分測定器を持って職場訪問している。測定器を全家庭に配ってはどうか。気づきの提供が重要。<br>・コミュニティナースの取組が三隅町内で広がっている。ちょっとした悩みを相談できるような活動が広がるといいと思う。未病。<br>・議会だよりにチェックシートなど啓発用のメッセージ等を載せてはどうか。<br>・民生委員などが役割を担ってはどうか。<br>・子どもに対しては世話しなければいけないが、健康が必ずしも幸せか。自分で決めるべきでは。幸せ度が高ければ良いのでは。 |

| | |
|---|---|
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・漁業の組合員・準組合員だが、規制が厳しくなった。出資をしているのに配当がない。不合理の解消を。　ルールの明確化をしてほしい。とる人がいないから取って帰る人が多い。改善しないと食っていけない。<br>・田んぼをやめた。地目変更しようと思ったが、雑種地の方が税金が高い。田んぼにしておくと売れない。<br>・耕作放棄地がたくさんある。小さな土地を持っていて、作りたいけど作れない状況がある。家庭菜園レベルでも鳥獣害対策が必要だけど補助はない。作りたくても大変な状況だと空き地のまま。金網、電柵などに対する助金を検討してほしい。個人でも複数人数で申請することができるようにならないか。みんな、猪対策で明け暮れている。根負けする人が多い。野菜が不足しているという話もあった。家庭菜園すれば食べる機会も増えるのではないか。自分の畑は広いところでいろんな人が作っているが、コミュニティになっている。野菜作りのことなども教えてもらえる。<br>・人が集まる所（まちセン近辺）に、日中でもイノシシが出てくる状況は改善してほしい。駆除にも配慮を。<br>・2月、6月は雄が徘徊する。クマは保護しすぎて住むところがないのでは。保護すべきかどうか。果樹を切ることが正しい対策なのか。風車が回っているとこもクマはすまない（住めない）。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>【総務文教】<br>・学校にいけない子（中学）が岡見でも3名いる。そのうち1人はセンターに親と一緒に来て話すこともある。<br>・不登校児童の実数はどう変化しているのか。<br>・ヤングケアラーの実態が正確に把握ができていないと聞いた＠魅力化コンソーシアム。<br>・一般教養は学校で学べる。生きる術を地域で教えるべき。<br>・親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるので |

| | |
|---|---|
| | は。窓口作るだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。<br>・ご飯を食べられない家族もある。実態は厳しい。<br>・豊か・貧しさの感じ方は様々。<br>・資料館は郷土資料館館長が反対している。<br>【福祉環境】<br>・ヤングケアラーの実態が正確に把握できていないと聞いた＠魅力化コンソーシアム。<br>・親御さんの支援が必要。子ども以上に親が悩んでいるのでは。窓口作るだけではだめ。悩みがあったときに助けを求められる何か家庭支援ができないのか。場所があることが地域の力ではないのか。<br>・ご飯を食べられない家族もある。実態は厳しい。<br>・豊か・貧しさの感じ方は様々。<br>【産業建設】<br>・三つ桜酒造の活用は？ひゃこるネットで放送された。講演会は誰が主催したのか？伝承館の話に触れられていた。検討委員会がこれからの話なのに、事前にそういう話が出るのはどうなのか。3月11日に放映。案が出るのはいいが。建設する理由がたてば良いが、進め方が悪いのでは。検討するならゼロからやってほしい。<br>【議会運営委員会】<br>・市民の意見を聞いて、きちんと議会で伝えてほしい。<br>・議員の活動を耳にすることがある。積極的な姿勢が伺える。行政からの提案に是々非々でやってほしい。 |

令和５年　６月　３日　議会広報広聴委員　　沖田真治

# 令和５年地域井戸端会　報告書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開催日時 | 令和５年５月 17 日（水）18 時 30 分～20 時 30 分 | | |
| 開催場所 | **和田まちづくりセンター** | 参加人数 | 10 |
| 出席議員 | 村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二 | 議長 | － |
| テーマ別に出た意見 | 【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・平日に子どもの姿がなく地域の見守りがしにくい。少子化の影響で子どもとのふれあいの機会が少ない。子どもがいない。もっと家庭の大人がふれあいの場を考えて行く必要がある。<br>・学校統合により和田地区はバス通学。学校支援に対し地域の参加、協力ができている。まちづくりセンターの協力体制ができている。<br>・地域で子どもを守っている行事が多い。（成人式、入学式、卒業式などの放送が流れている）<br>・少子高齢化に対し、ＩＴができること、外部人材でカバーすることなどを探る必要がある。<br>・地域づくりや子育ては、親だけで学校だけではなく、地域のすべてで多くの人と一緒に進める必要がある。<br>・子どもだけではなく、接点のなさそうな世代やグループとのかかわりを持つことが必要である。<br>・我が子でなくても関わりを持たれている、場所としてふるさとではなく、人とのふれあいがふるさととしての思い出に残る。<br>・コロナ時代に育った子どもたちには、いまどう思っているのか、考えておく必要がある。<br>・昨年から、旭小学校、みどりの少年団とのふれあいとして、彼岸花の植栽などしている。<br>・大学や就職などで、県外ではなく地元の大学、地元企業に残ってもらいたい、都会に出ると地元に戻ってこれない。 | | |

| | |
|---|---|
| | 【福祉環境】健康について<br>・まちづくり委員会でRMOを実施している。農福連携を進めていきたい。まちづくりセンターも関わっている。社会教育の視点も入れていきたい。<br>・サロン等に行く交通手段がない。<br>・以前は電動車に乗っている高齢者をよく見かけていたが、最近あまり見なくなった。施設の入居者が増えたのかもしれない。<br>→使っていない電動車の使い道があるかも。<br>・コロナがあり、高齢者には影響があったのではないか。 |
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・中山間地域が、国土を維持しているので、夕日パークや三つ桜跡地を取得するよりは、中山間地域の、小規模、高齢化率の高い地域の農業に、目を向けるべきである。<br>・地域守るため―担い手への助成<br>・農業基盤の整備・・昭和40年頃の圃場整備であり、畦畔が風化しているため、再度圃場整備が必要である。<br>・耕作放棄地対策－地域で農地を守る。（高齢化・人出対策）仕組みづくりについて市の考えは？<br>・農業は地域の財産であるがため、市として、明確な方針を示すべきである。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |

| | |
|---|---|
| | 【持ち帰るもの】<br>・賃金が低いので、賃金の高い都会、地域へ子どもを送り出している、大企業が都会に集中しすぎで、島根県と都会との賃金格差を少しでも縮め、日本全体の賃金格差をなくす必要がある。（総務）<br>・住み慣れた地域に空き家がある、空き家問題をどうにかする必要がある。（総務）<br>・地域づくりはできることをできる人が行うことが必要。（総務）<br>・高齢となり農地の管理ができない状況にある中、農業委員会から税金を上げるという文書が出て困っている。（産業）<br>・浜田市は漁業に力を入れており、中山間地に生活していて林業のことが見えてこない。（産業）<br>・活動に参加する人が減った。同じ人が参加している。（総務）<br>・和田の未来を考える会で住み続けるために農地を守っていきたい。（総務）<br>・和田の桃はとても評判が良い。農業の視点より、地域振興の位置付けで取り組んでいきたい。（総務）<br>→農業お試し体験などをして移住に続けていきたい。 |

令和５年５月６日　議会広報広聴委員　村武まゆみ

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 22 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>大麻まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・大麻地区は小学生３人、中学生６人、未就学児いなく、この先子どもはほとんどいなくなる。それに対しどう危機意識を持つか。<br>・子どもたちと地域の関わりをどうつくるのか、子どもの親は若い世代で、若い人とどうかかわるか、どう地域課題に関わるか。<br>・次世代とまちづくりセンターとのかかわりをどうつくるのか、まちづくりセンターにどう興味を持ってもらうか、地域への意識をどう高めるか、仕組みづくりが必要である。<br>・まちづくりセンターとして、夏休みに耐火煉瓦を使ったピザ窯をつくることにしている。<br>・まちづくりセンター、地区社協、婦人会などの役員が被っている。若い人が入るようにする必要がある。<br>・家庭環境や意識の問題がある。高齢者の上から目線では通用しない。若い人に寄り添う必要がありとにかく若い人の参画である。<br>・有償ボランティアの次代で、役員などに手当を出す必要がある。<br>・三中トークをやると地域の良さが出てくる。中学生が地域に興味を持ってくる。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・地域の認知症の方の見守りをしている（チーム SOS）。地域の関係性を持続していくことが大切である。<br>・サロン活動も頑張っている。交通手段が課題である。<br>・放課後等デイサービスとはどのような事業なのか。どんどん増えている気がする。<br>・保育園の ICT 化についてもっとわかりやすく説明してほしい。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | 【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>農地の考え方<br>・こうぞを植えたいが、どうすればいいか。<br>・観光について、石見地域で考えて、観光資源を見直そう。<br>・ダム等を観光資源として検討<br>・陸上養殖を実施するにあたって、水産試験場の役割は。<br>・旭温泉・美又温泉等の交流人口を増やす対策は。<br>・地籍調査は、どの程度進んでいるのか。 |
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・東部は観光入込客が多いが、西部は少なくゆうひパークも多くない、美肌温泉、石見神楽など振興を図る必要がある。（産業）<br>・確定申告窓口が大麻支所であったが、今はなくどうなったのか。（福祉）<br>・地籍調査の進捗率はどうなっているか。（産業）<br>・折居海水浴場に駐車場を整備してほしい。（産業）<br>・せっかく地域井戸端会をしても若者がいない。若者の意見を聞く方法を考えてほしい。（広報）<br>・なぜ社協が生活支援事業（コーディネーター）を受けなかったのか？地域には必要である。（福祉） |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　村武まゆみ

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 24 日（水）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>波佐まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>7</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・青少年健全育成をしてほしいと言われているが、何をしていいのかが分からない。<br>・保育園が在園児(20 人定員)である。その内地元は４名、広島から２名通ってきている。地元の子供がどんどん少なくなっている。このままだと保育園を存続していくことが難しい。浜田地域から子どもに来てほしい。<br>→特徴ある保育が必要。<br>・地域外から保育園児を連れくるために車はあるが、運転手がいない。<br>・小学生と地域の方と田植えの活動をしている。<br>・保護者はこの地域で暮らしていて良かったと思っている。<br>・とにかく子どもを産む世代が少ない。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・高齢者の方が元気。<br>・サロンに社協からのコーディネーターが来てくれた時は、サロンに参加者が多かった。<br>・診療所は絶対なくさないでほしい。買い物は他の人に頼めるが、病院は頼めない。<br>・中学生の通学について、行きは路線バスだが、帰りはスクールバス。定期券がもったいない。<br>・医師確保の予算をもっと増やしてほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・狩猟者の高齢化。<br>・米作りをする移住者を連れてきてほしい。<br>・農業の意欲がわかない。<br>・圃場整備をし、１枚あたりの面積を大きくする。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・支所に人が少ない。特に地元のことがわかる職員が少ないので、災害時など心配。（総務）<br>・邑南町のように、まちづくりセンターに市職員を一人配置してほしい。（総務）<br>・市退職後に地域のことを積極的に活動してほしい。（総務）<br>・益田はハウスが多い。金城が少ないのは、補助制度を使ってまでやりたいという人が少ない。他地域でできているのに、何故できないのか。やる気にならない。波佐は稲作のみで、儲からない。家の周りを荒らしたくないために米を作っている。（産業）<br>・JA 売店が閉店。店がなくて買い物が不便。（産業）<br>・お魚市場やゆうひパークで魚と野菜が一緒に買えるようにしたら良いのでは。（産業）<br>・ふるさと寄附を使って電柵に使えるようにしてほしい。（産業）<br>・地籍調査を進めてほしい。（産業） |

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　村武まゆみ

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 26 日（金）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>二反田団地集会所（長沢町）</td><td>参加人数</td><td>1</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td colspan="3">【回答したもの】※回答概要も記載<br>・保育園 ICT 化事業について説明。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【持ち帰るもの】<br>・三桜酒造跡地公共活用検討委員は誰が決めるのか。（総務）<br>・周布川防災拠点は高いところだが、低いところに福祉施設を作るのはおかしいのではないか。（総務）<br>・放課後等デイサービスで、不登校児の受け入れをしているが、どういう仕組みになっているのか。（福祉）<br>・地元で働く場所がない。中高生に地元の職業（職場）について知ってもらうことが必要なのでは？（総務・産業）</td></tr>
</table>

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　　村武まゆみ

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 19 日（金）18 時 30 分～20 時 20 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>周布まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>川上幾雄、岡本正友、西田清久</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>〇子供会の減少について<br>・地域の関りや公園等の不備が影響しているのか？<br>・公園は、幼児・高学年の遊びの違いで別が良い。<br>・周布地区は、子供会の役割を自主的に継続しこれが現在の活動に生きている。<br>・活発化の種は、子どもの参加を促す仕掛け。<br>・子どもの希望を活かす活動内容と保護者の同伴が必要。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>〇地域サロン活動について<br>・センターの無い町内でも独自に地域サロン開催。<br>・センターでは毎月曜日にラジオ体操開催。（10 人程度）<br>〇孤独死について<br>・地域の問題として捉える必要性がある。<br>・独居について若者と考える機会を持つ必要がある。<br>〇健康寿命について<br>・県下８市及び他市との比較を広報でされたい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>〇遊休農地について<br>・活用について検討されたい。<br>〇草刈後の措置について<br>・野焼きができない場合の処置について検討されたい。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td>【回答したもの】※回答概要も記載<br>○周布防災基地について<br>・サイズ、機能、場所を図示し説明。<br>○公園について<br>・市より本年５月３日に『身近な公園整備基本方針』が示されているので参考にするように回答。<br>○孤独死について<br>・地域問題として、また、若者との対話等は必要。<br>・独居者が無くなられた場合の手続きについて「死後手続きフロー」を地域福祉課が作成されているので活用されたいと回答。<br>○健康寿命<br>・対比資料は必要と回答。</td></tr>
<tr><td>【持ち帰るもの】<br>・周布地区住民に対する防災基地の説明（総務）<br>・健康寿命の対比資料を広報へ記載（福祉）<br>・遊休農地、除草残渣処置の検討（産業）<br>・広報の和暦西暦の併記（広報）<br>・防災用の標高標示の早期表示（総務）<br>・洪水の危険度レベル標示を標準化し見やすくする（産業）<br>・飲酒問題について、有無の解明（総務）</td></tr>
</table>

令和５年６月２日　議会広報広聴委員　　川上　幾雄

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 22 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>美又まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>18</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>川上幾雄、岡本正友、西田清久</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>〇子供の現状<br>・保育園や学校が地域の拠点となっていた<br>・戸数の減少とともに子供も減少<br>・若者の留まる、居たいと思える魅力が乏しい<br>〇地域課題<br>・娯楽、遊び場が狭い<br>・子供というより町内会継続が不安</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>〇食事について<br>・塩分の取りすぎに気を付けている<br>〇憩いの場・外出について<br>・相乗りタクシー活用で家から出て他者との関わり増<br>・シルバーカーの補助があれば活用して外出が可能<br>〇健康づくりについて<br>・浜田弁でするラジオ体操で笑いと健康づくり<br>・無線放送で毎日ラジオ体操を流してはどうか<br>・多くの高齢者が参加できる運動を考案しては<br>・美又温泉を活用して『湯道』による健康づくり</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>〇農地について<br>・草刈の労働が不足、協働作業の検討が必要<br>・圃場周辺の支障木を除去する手助けが欲しい<br>・認定農業者以外へも機械購入時の補助が欲しい<br>〇その他（道路）<br>・不法投棄防止、側溝の清掃、支障木除去のためパトロールと維持管理を強化してほしい</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td>【回答したもの】※回答概要も記載<br>○観光について<br>・残土処理場の活用にドッグランの案を<br>・インフラの整備（パーキングへトイレ、遊歩道）<br>※美又地域再開発事業に加える必要性は高いと回答<br>○草刈残渣について<br>・残渣処理が可能な処理場が必要<br>※たい肥化も要素として検討が必要と回答<br>○前向きな意見<br>・子供とのふれあいで大人が元気を<br>・美又ならでの民具伝承館を会館、手にとり体験<br>・美又温泉に遊具があれば子供連れが来場する<br>※再開発計画に加える必要性は高いと回答</td></tr>
<tr><td>【持ち帰るもの】<br>・若者の留まる、居たいと思える魅力の創出（総務）<br>・シルバーカー補助の充実（福祉）<br>・無線放送でのラジオ体操実施（総務）<br>・草刈・支障木除去への手助け（産業）<br>・認定農業以外へ手厚い補助（産業）<br>・草刈残渣のたい肥化施設の検討（産業）<br>・美又再開発計画への要望（残土処理場へのドッグラン、パーキングへトイレ、遊具の設置）　（産業）</td></tr>
</table>

令和５年６月２日　議会広報広聴委員　　川上 幾雄

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 26 日（金）18 時 30 分～20 時 40 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>白砂まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>川上幾雄、西田清久、岡本正友</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>○子供との交流が地域の活性化に<br>・子供会年間計画を作成しセンターとともに活動<br>（クリスマス、餅つき、花火大会など）<br>・行事へ小学生を呼び込む…学校との一体化<br>（他校との交流、運動会で異世代交流、屋内での運動会）<br>・センター起案で体験や交流<br>（神楽練習、野菜作りや農業を通じて）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>○サロン活動<br>・センターを中心として歯の健康作り<br>○独居者の健康<br>・常会を活用して安否確認<br>・小組（隣近所）付き合いがまだ生きている<br>○ふれあい交流会の開催<br>・非日常（変化のある）で一日を過ごす</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>○草刈<br>・道路法面除草は人員不足している<br>（ボランティア隊や防草コンクリートの検討が必要）<br>○柿栽培<br>・潅水不良…協定している水量の調整困難、容量不足<br>○その他<br>・赤字でも法人税が必要な法人化は行い難い<br>・認定農業者以外へも利活用できる少額補助が必要</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>○柿栽培（潅水不足）<br>・潅水対策事業で見えなかったことを含め、地滑り対策の排水ボーリング活用・雨水集積タンク等再検討は必要<br>○農業者への補助<br>・現状維持が可能な程度でも取り組むべきと回答<br>○青少年サポートセンター活動<br>・引きこもり対策として見えるものがあった<br>（昨年の屋外活動にヒント、農作業と人間関係）<br>※有効な活動を検討すべきと回答<br>○Ｉターン<br>・受け入れ条件が多様化しており対応が難しい<br>・空家バンクへ入居しても地域との交流が難しい<br>※条件等を検討する必要ありと回答 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・子どもとの交流や地域間交流へ活用できる移動車両確保（総務、福祉）<br>・草刈へ大型機械（ユンボ装着）を導入できる事業（産業）<br>・過年により補償額が減少し、修繕費（ハウス等）の増加が農業継続の支障となりうるのでここに補助を（産業）<br>・柿栽培に必要な潅水の再調査、施設事業化を（産業）<br>・空家バンク活用者へのサポートを強化（総務） |

令和５年６月２日　議会広報広聴委員　　川上 幾雄

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 30 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>市木まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>13</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>川上幾雄、岡本正友、西田清久</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>〇他町で就学する子供達<br>・未就学児　６人（1 人以外は邑南町へ）<br>　小中学生　２人（共に邑南町へ）<br>〇子供の声が聞こえるのは盆正月（帰省同伴児童）<br>〇地域の活動<br>・過去には、ほたる祭りはダンスで子供を呼んでいた<br>・個人活動では、田植えや稲刈りなどの体験行事へ広島から児童を招いている</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>〇健康診断の場所が地域で行われない（都川と今市）<br>・人口減少が一因であるが、送り迎えを必要とする高齢者が増え、搬送方法又は地域で実施を検討している<br>〇地域の活動<br>・百歳体操、ゲートボールを２か所で<br>・最近はウォーキングを行う人が増えている<br>〇過去の活動<br>・旧旭町時代には健康づくりの先進地で、健康づくりが旭町全体へ広まった（婦人会、食改の働きかけが大きい）<br>・過去のこともあり個人の健康に対する意志が高い</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>〇法人化は未着<br>〇稲作<br>・自己消費分の作付けで十分との思いがある<br>・販売単価の上昇が必要で鍵<br>〇人口養殖<br>・隣の北広島市大暮地区のレモンサーモン養殖を参考に</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載<br>○ほたる祭り<br>※現地での体験が大切、PR を全市的に行う必要があると回答<br>○陸上養殖<br>※産業建設委員会も注目しており FRD ジャパンを視察し、市としても瀬戸ケ島地域の案件を含め検討中と回答<br>○祭りの活発化<br>・泥落とし、ほたる祭りを再度活発化させる必要がある<br>・30 数年行っていた「ふれあい祭り」の成果を生かして新たに小規模でもよいので再開を<br>※経験を活かし、まずは地域での検討が大切と回答<br>○地域に溶け込めない UI ターン者<br>・受け入れ条件をしっかり定めが受け入れる必要が<br>・入居には地域活動への参加を加えるよう検討<br>※行政側での取組も必要と回答 |
| | 【持ち帰るもの】<br>○高齢化へ不安を覚える<br>・集落維持などにボランティア受け入れを検討（総務）<br>・地域に根付く新たな人材募集を検討（総務）<br>○その他<br>・地域活動などを広く市内へ広報方策を検討（総務）<br>・空家バンク貸し付け条件の見直し（総務）<br>・ほたるの里として地域が行ってきたこれまでの活動を広く広報することが今後に生きる（産業）<br>・地域の閉鎖的発言や行動が地域になじめない原因ではないかとの発言があり、地域の方々と共に気づきを得た（総務、福祉、産業） |

令和５年６月２日　議会広報広聴委員　　川上 幾雄

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 17 日（水）18 時 30 分～21 時 00 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>国府まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>3</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>布施賢司、永見利久、川神裕司</td><td>議長</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・国府地区はサン・ビレッジ浜田があり、地域資源を活かした体験と教育を進めるべきだし、浜田にも多くの地域資源があるので郷育を進めるべき。<br>・昔あった、子ども会を行ってほしい。<br>・子どもが楽しみ、学ぶことが出来るような取組に対して事業化し、市内団体等の教育、体験活動に対しソフト事業で助成してほしい。<br>・登下校の見守りを継続してほしい。<br>・地域の職場体験を通じ地域の産業を知り調べることで子供達に役立たせるためにもっと機会を増やすべき。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・健康に関するまちづくりセンター事業への補助が必要。<br>・サロン活動を実践する場所を提供してほしい。<br>・百歳体操を普及して健康づくりを推進してほしい。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・認定農業者と認定新規就農者の状況について<br>⇒現状認識して所得向上させるための施策事業が必要である。<br>・耕作放棄地対策（担い手不足、高齢化、低収入）<br>⇒集落で農地を守る⇒里山保全<br>・養殖事業について<br>⇒大手企業を誘致するだけでなく、閉鎖循環式の養殖を考え中山間でも養殖ができるように挑戦できる助成が必要である。（例　ウニの養殖等）<br>⇒要するに漁業者の所得を向上させる方策をどこで考えるかが大事である。（耕作放棄地対策にもつながる）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td>【回答したもの】※回答概要も記載</td></tr>
<tr><td>【持ち帰るもの】<br>★非課税世帯の特別給付金支給の件（福祉）<br>現時点で何かの手違いで非課税世帯が課税世帯として登録され、結果特別給付金の案内が届かず本人は憤りを感じて市長直行便や直接来庁され訴えている。数度となく担当課にヒアリングをしたが結果は変わらない状況。<br>★公共施設再配置実施計画の問題点を指摘（総務）<br>①中期財政計画の数字は甘すぎる。計画時より様様な要因が大きく変化しており、短期で見直し、修正を行うべき。<br>②ハコモノ(取得・建設)は利用者想定数を調査している場合とそうでない場合があるが何故なのか。本来ハコモノは必要ないのでは。<br>例　まちなか交流プラザ⇒調査実施<br>長沢まちづくりセンター⇒調査していない</td></tr>
</table>

令和５年６月４日　議会広報広聴委員　　川神　裕司

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 23 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>三隅まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>布施賢司、永見利久、川神裕司</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・子供会の活動など地域での関わり、地域資源の活用。<br>・子供たちの居場所づくり(公園整備)。<br>・小中高のボランティア活動(学校教育でもボランティアの大切さを訴える)。<br>・少子化問題を市の全課が連携した取組みが必要。<br>・子どもを産み育てる環境の取組みについて。<br>・子供たちの住みやすい環境をと要望したが、行政の対応がなかった。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・医師確保対策のための予算が約 150 万円とはあまりにも低予算では。もっと大胆な医師確保対策費を組むべき。<br>・放課後デイサービスとは何なのか。障がい者雇用につながっているのか。施策が一本になっていないのでは。<br>・地域担当保健師確保。<br>・住民の健康診断のあり方を考えてほしい。<br>(なぜ検診が必要かしっかりその意義を伝えてほしい)<br>・人間ドック希望者が支所窓口で受け付けできるようにしてほしい。(葉書で申し込む場合、個人情報の上にはマスクシールをすべき)<br>・コロナ以降老人保健施設の従業員が減少してサービスが低下しているのでは。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・認定農業者とは何か⇒基準が分からない<br>・耕作放棄地問題⇒鳥獣被害⇒狩猟者不足(高齢化による)<br>・農機具、草刈り機の購入・修理費が高額で離農者が多くなってきている⇒県や市が機器を買い上げて貸し出すことはできないか、検討すべきである。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 自由意見 | 【回答したもの】※回答概要も記載 |
| | 【持ち帰るもの】<br>・ハコモノの取得・建設問題(郷土資料館、4号荷捌き所、まちなか交流プラザ、三つ桜酒造跡地取得問題等)（総務）<br>・町内会で役員のなり手がいない（総務）<br>⇒市の職員が地域の運営にもっと関わるべきである。<br>・飲酒隠蔽問題（総務）<br>・放課後デイサービス、青サポ、やまびこ学級の役割と連携について（福祉） |

令和5年6月4日　議会広報広聴委員　川神　裕司

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月24日（水）18時30分～20時30分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>三保まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>6</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>布施賢司、永見利久、川神裕司</td><td>議長</td><td>〇</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて<br>・小中学校での、地元の歴史、文化、産業等の学習についての内容について、行政や議員も理解してほしい。<br>・子ども達の教育に関わる先生の人数は不足している。対応を考えているのか(教員不足)。<br>・子ども達、学童、児童クラブが６年生まであり、地域の人と接する時間が少なく、現状、地域の人と関りはなくなった、よって意図的、目的をもって小さい頃から行っている地域の人と接する機会を多くするべきだ。<br>・子どもが増える施策を望む。</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について<br>・高齢者の引きこもり対策を検討してほしい。<br>・地域サロン活動を後押ししてほしい。（補助金等）<br>・障がい者の方のスキルアップを応援してほしい。（以前NHKドキュメントで障がい者をバックアップしている企業が紹介されていた。浜田市、もしくは石見地区にそのような企業やNPO団体はないのか）<br>・健康寿命を延伸する取組をしっかり検討してほしい。<br>・「はまチャレ」の参加人数は。（すでに回答済）</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について<br>・田の浦海岸の砂浜問題⇒調査をしてほしい<br>・お魚の普及事業継続を望む<br>・JAの農機具等の修理者の人材不足問題<br>・耕作放棄地対策を望む⇒広範囲に広がってきている</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td>【回答したもの】※回答概要も記載<br>〇漁業問題<br>・海の幸(サザエ等)は地元の人が採取するのは良いのではないか<br>⇒法律で決まっておりダメである。(ボベ、セイは良い)<br>※議長回答<br>・バフンウニの収穫は(磯焼け)<br>⇒漁師が中身が少ないため獲らない。※議長回答<br>〇三隅氏発祥 800 年の PR を全市で<br>⇒市議会議員は全員ポロシャツを購入して PR をしており、6 月定例会議初日は議員、執行部側も着用して PR に努める。</td></tr>
<tr><td>【持ち帰るもの】<br>・地元食料品店閉鎖問題（産業）<br>・公共交通問題(地域の現状に合った運行を)（総務）<br>・県営・市営住宅を建設する場合は三隅地区にも（産業）<br>・JR の列車ダイヤの正確な情報を携帯電話以外で周知してほしい(運休等が起こった場合等)（総務）</td></tr>
</table>

令和 5 年 6 月 4 日　議会広報広聴委員　　川神　裕司

# 令和５年地域井戸端会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和５年５月 27 日（土）18 時 00 分～18 時 30 分</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>杵東まちづくりセンター</td><td>参加人数</td><td>0</td></tr>
<tr><td>出席議員</td><td>布施賢司、永見利久、川神裕司</td><td>議長</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">テーマ別に<br>出た意見</td><td colspan="3">【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</td></tr>
<tr><td colspan="3">【福祉環境】健康について</td></tr>
<tr><td colspan="3">【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自由意見</td><td colspan="3">【回答したもの】※回答概要も記載</td></tr>
<tr><td colspan="3">【持ち帰るもの】</td></tr>
</table>

令和５年６月６日　議会広報広聴委員　　川神　裕司

第２回

# はまだ市民一日議会

あなたの考えを議会に直接伝えることができる一日です。

**浜田市在住・在学・在勤の方**
年齢制限なし

**テーマは浜田に関すること**
生活の中で思うこと、困りごと、市政へ届けたい思いなど

**発言時間 5分**
質疑応答を含んで10分間

## 10 / 16（日）14:00 - 16:00

**浜田市議会 本会議場（浜田市役所 5階）**

昨年に引き続き、第2回を開催することとなりました。第1回目は17名の方にご参加いただき、ご意見を伺いました。市民の皆さんと向き合う場として大きな成果がありました。いただいたご意見は、政策提言などをはじめとする議会活動の充実につなげていきたいと考えています。ご自身の暮らしを通じた視点や改善策をぜひお聴かせください。ご応募お待ちしています。

定　　員　10人
申し込み締切　令和4年9月14日（水）　17:00 必着
お問い合わせ　浜田市議会 議会事務局（担当：小寺）
申し込み方法
裏面の申し込み用紙に必要事項を明記の上、議会事務局に持参、メール、ファクス、郵送のいずれかでお申し込みください。

詳細はこちら▼

〒697-8501　浜田市殿町1番地
浜田市議会 議会事務局「はまだ市民一日議会」係
E-mail　gikai@city.hamada.lg.jp　Tel 0855-25-9800　Fax 0855-22-6765

● 初めての方を優先します。● 応募者多数の場合は抽選により発言者を決定します。● 発言者決定は郵送にてお知らせします。● 応募は1人1件、1つの発言テーマに限ります。● 複数の応募があった場合は原則1件目に受理したものを採用します。● 詳細な注意事項は市議会ホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しています。

主催　浜田市議会

# 申し込み用紙

**氏名（ふりがな）：**

**年齢：**

**住所：**

**職業：**

**電話：**

**メール：**

**発言テーマ：**

**発言内容：**

## ■ お申し込みに関する注意事項

・未成年の方が発言される場合、保護者の方なども一緒に登壇していただけます。
・発言に際し、パソコン、スマートフォンなどの機器の使用はできません。
・応募の際にいただく個人情報は、実施に関する連絡などに使用します。
・報道機関に対して、事前に発言テーマなどの情報提供をする場合があります。
　また、当日の発言の撮影を許可するため、ご了承の上、ご応募願います。
・当日の様子をYouTubeで公開し、市議会だよりへ写真掲載することなどにご了承願います。
・当日は議員、発言者、傍聴者、報道機関などに対し、発言者の氏名及び発言テーマを記載した資料を配布します。
・手話通訳などの配慮の必要がある場合は、10月5日までにご連絡ください。
・発言者以外の方（ご家族、ご友人など）で同行者がいる場合は、傍聴席でご覧いただけます。
・記入に不備がある場合は、内容確認のため、ご連絡させていただきます。

第３回はまだ市民一日議会に向けたスケジュールイメージ

| | 令和４年度 | 今年度 |
|---|---|---|
| チラシ確定 | ７月 28 日（木） | ６月下旬（6 月 29 日予定） |
| 募集開始 | ８月４日（木） | ７月中旬（　　月　　日　） |
| 申込締切 | ９月 14 日（水） | ９月中旬　（　　月　　日　） |
| 開催日 | 10 月 16 日（日） | 10 月中旬　（　　月　　日　） |

【第２回 周知方法】

・チラシ、ポスターの配置

・はまだ議会だより（チラシ折込）

・市議会 HP 掲載

・石見 CATV 告知

・市公用車ステッカー貼り付け

・総合窓口課モニター掲示

・広報はまだ掲載（９月号）

| NO | ぎかいポストに寄せられた意見 | 所管委員会(案) |
|---|---|---|
| 1 | 浜田市陸上競技場の駐車場が少ない。小学校の陸上大会の観戦の際車が入れられない | 総務文教 |
| 2 | 井戸端会議は地域住民のみの参加にされたほうが良いと思います。井戸端会議そのものの意味もあまりないように感じました。旭の事がわかっている方に来ていただきたかったです。 | 広報広聴 |
| 3 | 地域の買い物困難者対策として提案<br>・東北の事例（宮城県栗原市）<br>障がい者自立支援センターの就労支援として買い物困難地域に県、市、支援センター（浜田では石見福祉会）そして地場スーパーマーケットが協働で買物困難地域の支援をする。<br>障がいのある方々の働く場の提供。<br>「移動式スーパー」俗に言う移動販売。7月から週2回稼働で進めているらしいです。<br>特にこの地域にも独居老人や免許返納された方々でルートをつくりそんな計画ができないかと思っています。<br>地域コミュニティの復活　やさしい地域<br>そんな事実現できれば提案いたします。 | 福祉環境 |